

みんなで話し、みんなで考え、まちづくりの輪を広げることができました。

vol.
15
10/27(金)

まちづくり活動のアイデアを プロジェクト化するスキルを習得しよう



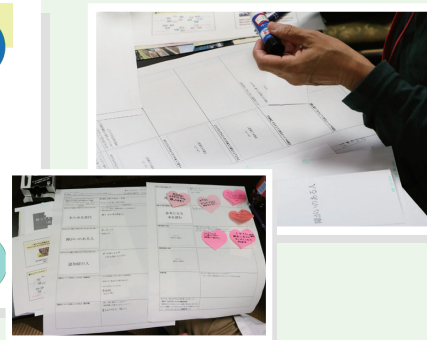
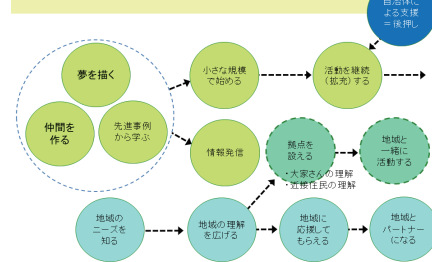
コーディネーター

奥村玄氏（GENプランニング代表）

住民参加のまちづくりに40年近く携わる。きっかけは冒険遊び場。そこから公園や道、身近な拠点づくり、地域福祉や防災へと広がり、地域みなさんと協働の毎日を送っている。

地域活動の始め方についてのミニレクチャーを踏まえ、「活動によって幸せになる人は誰？」「最初にすること、次にすること」「知ってもらう方法」の3種類のカードとワークシートを用いて、自分の想い、やりたいこと、できることを整理しました。

■地域活動のスタートアップ



プロジェクト化に向けてグループでアイデアを共有。その後、ブラッシュアップした内容を発表し、みんなで応援メッセージを交換しました。



会場にした高津区の『まちのひろば』

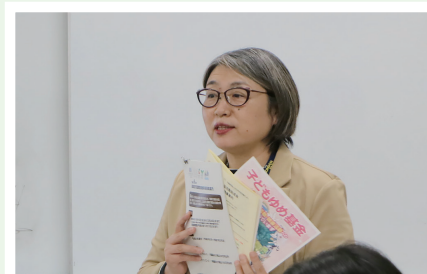
大蓮寺(照曜会館)



地域の方に親んでもらえるお寺を目指し、ヨガ教室やコワーキングなどのイベントも開催しています。宗派を問わず誰でも利用することができるお寺として地元から愛されているお寺です。畳とお線香の香りが心地よい空間でした。

vol.
16
11/24(金)

助成金等の採択を目指すための 資料作りやプレゼンテーションスキルを習得しよう

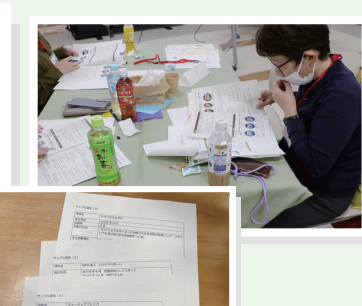


コーディネーター

人見雅子氏（かわさき市民活動センター職員）

中間支援組織で市民活動をサポートする傍ら、プライベートでは地域のNPO法人メンバー、社会人劇団主宰などプレイヤーとしても活動している。

実際の申請書を用いて、助成金の目的、対象になる団体/事業の種類、応募期間、事前相談は必要か・・・など必ずチェックすべき項目について学びました。さらに、申請書の良い例・悪い例を確認しました。



各グループが目的の異なる架空の団体となり、同じミニコンサートの開催に向けて助成金の申請書を作成。さらにそのプレゼンを行い、目的によってプレゼンの内容も変わってくることを共有しました。

